

政策1【在宅医療・福祉の強化】

困ったら
“すぐつながる”
愛西市へ

- ✓ワンストップ相談窓口を市役所に設置
現場と行政をつなぐ専門チームを配置。
- ✓医療・福祉・介護の連携サポートチーム
医療・介護・福祉・障害などの相談をひとつの窓口で。
- ✓家族介護者の負担を軽減
介護する家族を地域で支える仕組みを強化。

政策2【高齢者が安心して暮らせる地域づくり】

支え合いと予防で
“老後の不安ゼロ”へ

- ✓地域見守りネットワークを拡充
郵便局・企業・新聞店と連携し、高齢者を見守る体制を強化。
- ✓身近な場所で介護予防「通いの場」
公民館・集会所で誰でも参加できる健康づくりの場を拡充。
- ✓高齢者の暮らしを支える生活サポート
日常の“ちょっと困った”に寄り添う支援。

政策3【子育てしやすく、誰もが暮らせる愛西市へ】

若い世代が
「住みたい」
と思うまちに

- ✓子育ての経済負担を軽減
若い世代の定住促進につながる支援を強化。
- ✓障害・精神・医療的ケア児の地域生活支援
制度の“隙間”に落ちない支援体制へ。
- ✓子ども・家庭を支える地域コミュニティ
家庭で抱え込まない子育てへ。

「誠実、まっすぐな」
政治を！

政治の道を志した理由

私は、愛西市が大好きです。

この街で生きると決め、家を建て、訪問看護の事業を始めました。

高齢者や障がいのある方のご自宅を訪ねる中で、家族や地域だけでは支えきれない現実を見てきました。受け皿や医療資源が十分とは言えず、制度の壁によって必要な支援が適切なタイミングで届かないこともあります。

現場は懸命に動いていますが、現場だけでは変えられない仕組みの課題がある。

このままで次の世代に、安心を手渡せるのか。そう考えるようになりました。

そして昨年、子どもが生まれました。

この子が将来も、この街で安心して暮らせるだろうか。

大好きな街だからこそ、守りたい。

大好きな街だからこそ、より良くしたい。

現場を知る者として、経営者として培った判断力と行動力を活かし、行政とともに現実的な仕組みをつくる。

私はこの街の未来に責任を持ち、行動します。

その決意で、政治の道を志しました。

連絡先
お申し込み



Instagram



Facebook

